

科目名	社会福祉発達史 I (西洋)					単位	2.0
担当教員	牧村 順一						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	1	授業番号	1511

●授業のテーマ

欧米における社会福祉の発達の歴史を知る

●到達目標

基本的人権の確立や民主主義の発展史について理解し、さらに「貧困」観の転換や、社会福祉制度の登場と発展について、系統立てて学ぶ

●学習内容(授業概要)

産業革命を契機とした社会の発展を、資本主義社会の本源的蓄積期・産業資本の登場・独占資本主義、帝国主義、国家独占資本主義等の各段階に区分して、そのときどきの社会問題及び生活問題の構造を把握し、その社会的対応策としての社会保障及び社会福祉制度の発展を系統的に理解する。

●学習内容(授業計画)

《前期》

1. オリエンテーション
2. 近代資本主義の登場と労働者階級の出現
3. 「困い込み運動(第1次及び第2次)」(英国)と労働者階級
4. 英国ロンドンのCOS運動と「マイフェアレディ」
5. メアリーリッチモンドとNYコロンビア大学「スクールオブソーシャルワーク」
6. 労働者とは何か?賃金とは何か?
7. 新救貧法の成立 産業革命と貧困
8. チャールズ・ブース「ロンドン調査(1886-88)」
シーボーム・ラウントリー「ヨーク市調査」(1899年)
9. 救貧法及び困窮者救済に関する王命委員会 多数派報告及び少数派報告(ウェップ夫妻)
10. アメリカにおけるソーシャルワークの形成過程
11. セツルメント活動とトインビーホール
12. 第1次世界大戦と英国の社会保障
13. 第1次世界大戦後の英国の不況とパックス・ブリタニカからパックス・アメリカーナへの転換
14. 「ソビエト連邦」の誕生と社会保障制度の本格的展開
15. (まとめ)第2次大戦と社会保障及び社会福祉制度

●準備学習・事後学習の内容

基本的には講義形式ですすめますが、ペアやグループでの討議を時折とりいれます。積極的に参加してください。また、授業内にミニレポートを提出していただくことがあります。

●成績評価方法・基準

ミニレポート25% 期末レポート75%

●テキスト（必携）

●参考文献／その他
適宜紹介します

●履修上の注意

社会問題・社会生活問題の歴史的展開に関する興味を持続し、現代の社会保障・社会福祉制度体系がいかに形成されてきたかに関心を持って参加すること